



入学・進級から1ヶ月が過ぎましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で5月6日までの休校措置が5月31日まで延長されました。授業、学校行事、部活動など皆さんを取り巻くすべてのことに影響が及び、皆さんは試練の時を過ごしていることと思います。特に3年生は進路決定という大きな節目を目前にして不安な気持ちを抱えていることでしょう。今は、感染を回避するために十分な衛生管理を行い、健康維持に努めながら、落ち着いて「今やれること」に取り組んでください。

## 【高校生の家庭学習の勉強法について】

### (1) 家庭学習するときのポイント

#### ① 予習と復習を徹底して行う

家庭学習に限らず、すべての学習に重要なことですが、「予習と復習」をとにかく徹底して行うことが効率のよい勉強への第一歩です。学習における予習→本学習→復習の3ステップにおいて最初に行う予習は、本格的に学習する準備のために必要なものです。学ぼうとする単元の基礎や前提知識を最初に整理することで「何を勉強するのか？」という心構えができます。また、学習の「仕上げ」に当たる復習にどれだけ力を入れるかによって成績が決まってくると言っても過言ではないでしょう。

#### ② 集中できる環境を整えておく

家庭学習を成功させるカギは、「自宅で勉強に集中できる環境」をどれだけ整えるかにかかっています。学校での授業は教員がいるので勉強に集中しやすい環境と言ってもいいでしょう。一方、家庭学習となると皆さんの身のまわりにはスマートフォンやゲーム機、テレビやインターネットなど勉強の妨げになるものが溢れています。新型コロナウイルスのために外出もままならない状態ではそれらの娯楽に逃げてしまうのも無理はありません。そんな状況だからこそ、「集中できる環境をいかに整えられるか」というのは最重要課題と言えます。上に挙げたもののうち、少なくともスマートフォンやゲーム機を自分から遠ざけた上で学習に取り組むようにしましょう。

### (2) 各教科ごとの勉強法について

- 〈国語〉 まず、現代文はとにかくたくさん読むことをおすすめします。「教科書」「問題集」「新聞」「インターネットのニュース記事」など何でも構いません。学年にもよりますが、4・5月は夏以降に向けて力をためていく時期です。「ただ読むだけで力になるの？」と不安であれば「100字要約」に取り組んでみましょう。「文章を要約する力」というのは理解力を測る一つの指標になります。次に、古文・漢文は「語彙力の強化」を行ってください。古典は高校生が最も苦手とする分野の一つです。授業再開までの間は古語・漢語の暗記に努め、文法は学校再開後に取り組みましょう。
- 〈数学〉 数学は家庭学習が重要な教科の一つです。学校の授業だけでマスターできる高校生はほとんどいないのではないのでしょうか。高校生が数学を家庭学習する上で大切なのが「自分に合ったレベルの参考書」に出会うことです。基礎レベルであれば「基礎～標準」、標準レベルであれば「標準～応用」、応用レベルであれば「応用～難関大」と、「自分に合った参考書を一冊マスターするまで何度も解く」ようにしましょう。次から次へと乗り換えるよりも、一冊をやり遂げる方が確実に力になります。
- 〈英語〉 英語はライティング・リスニング・長文読解・英単語・イディオムと学習すべき分野が多岐にわたる教科です。家庭学習ではこれらの分野を「バランスよく学習する」ようにしましょう。特に、リスニングは「大学入学共通テスト」に変わって配点が50点→100点と大幅に増えました。リスニングは早い時期から「英語を耳に慣れさせておく」のが重要です。文法や単語・イディオムは比較的短期集中での成績向上が望めますが、リスニングはある程度の時間がかかるとっておきましょう。洋画や洋楽の鑑賞も英語に耳を慣らすのに適していますので、積極的に活用してみてください。
- 〈社会〉 暗記が中心になる社会は「家庭学習に最も適した教科」と言えるでしょう。地理・日本史・世界史と科目を問わず重要事項の暗記は社会の実力をつける上では欠かせません。また、日本史・世界史の歴史系の科目は「時代ごとの流れを整理しておく」ことも大切です。
- 〈理科〉 理科は物理・化学といった計算系の科目と、生物・地学といった暗記系の科目に分かれています。計算が重要になる物理・化学は家庭学習でも演習が大切です。問題集などを活用して「充分量の演習」をこなしておきましょう。暗記が重要になる生物・地学は、重要事項の暗記と、単元ごとの流れを整理しておくようにしましょう。暗記した内容を問題集などで確認しておくことも大切です。

(参考 Study Search)

☆ここに挙げた勉強法は一つの例です。参考にして自分なりのやり方を工夫して取り組んでください!!



